

面弓掬

和書門類			
二	二	二	二
一	一	六	四
二	一	六	七
册	架	函	九

内閣文庫			
九	四		和
九	七		書
一	二		
〇	九		
架	册	號	類

内閣文庫	
番號	和 24729
册數	212 (59)
函號	199 216



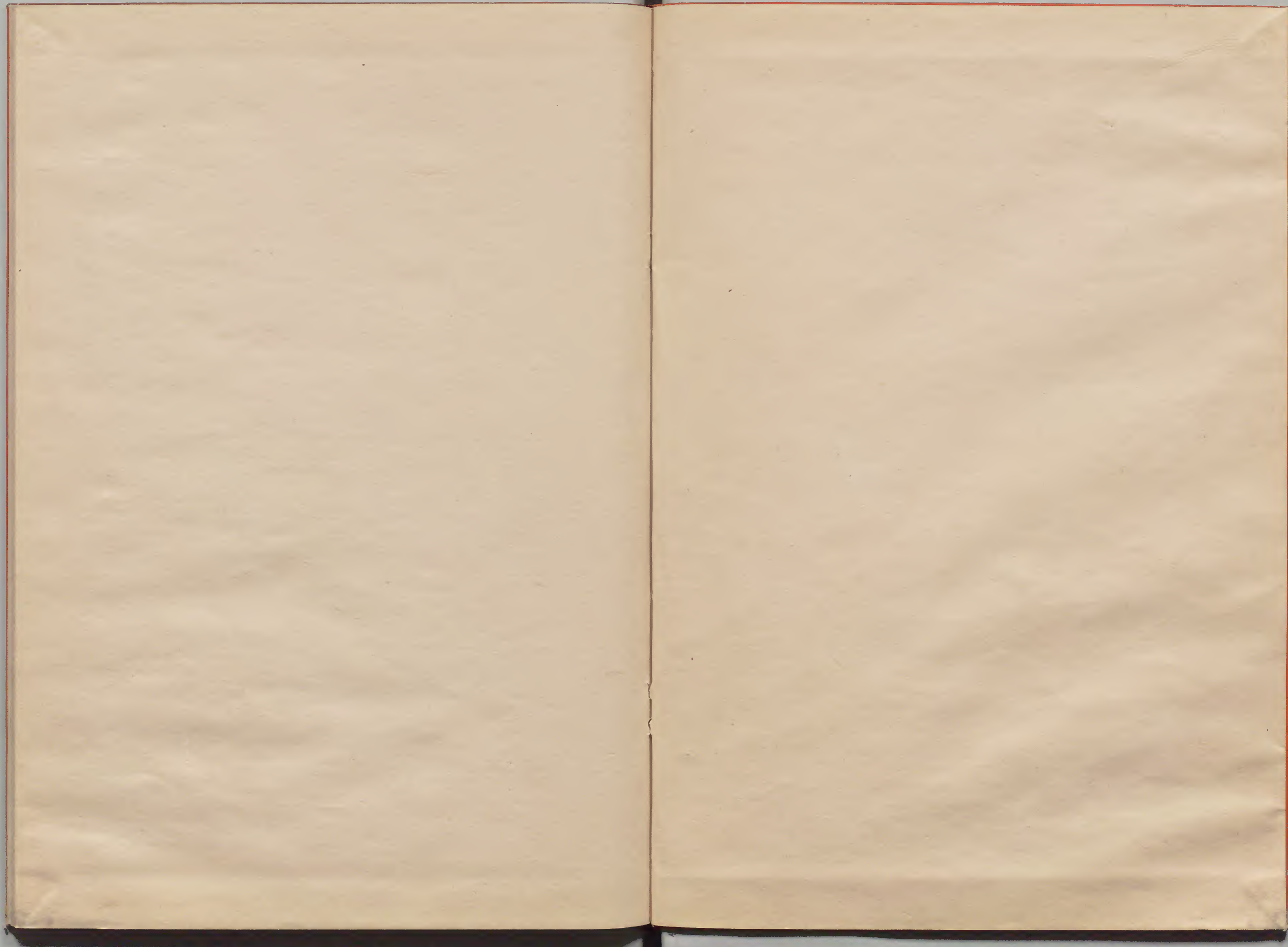
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

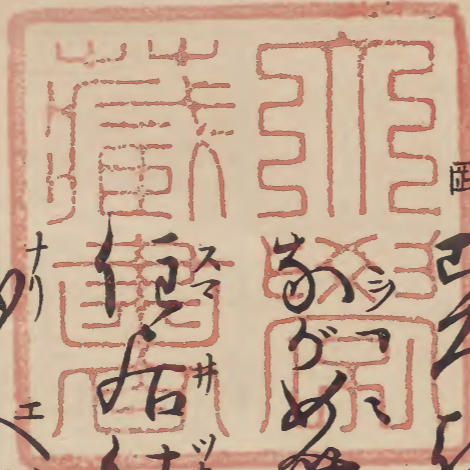
Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak







第...

山路の盡を

者ノ下京息ノ

花をめぐらさる

山花の目と送る

地をのりて

西山の行乃菴

室を花風ある



浅草文庫

ウケタスリオヨビ
愛人のほごに花見の人々と伴ふ
只今うや山西の菴室へと志願
知百子馬精のまはる物とよしくあ
たまちゆ日びるそはも生のか
あわを屋もまらて翠のあ
中らぬも諸をよたまも花ある
心れ作も花ある心家 男初コレ

サイキヤウ アニジツ ウキ シバラク ミナ オシ
西行乃房室よあそへん 増し
マキ ソレガニ アニ ナイ 物言タレ
あそふあひの山 作らそりあひ
男 山は都言乃者よそいかに
菴室の花園あるよー 愛及るく
是れまをまつりそいさこいさへ
物言 アヒガ オシユト エドモウキニ ゼイ
あま間のあひそいそいそいそい

さかづきをさぐりては心のゆりては行上ホド

伊子をさぐりては心とくるとして見うす

よそへ増し河へ入る心は柔らきハキケ

まろ花の上を来り相子ありては中ノト

木の葉下地は暗の水よるる

のり系行ありては伏乃夏もあぐりてはカニ

庭の木の凡一聲舟の秋を催も事モヨホ

草花園木のうづら見ゆは結ハナモク

縁さうらわあぐり室の対の中ももさぐりエガ

さかづき花乃おあぐりあぐり面白ハナ

白本乃の機織りよそへはるらハナ

いりては都より此は庭の花と見コノ

たまきりては心とくるとして見うすコレ

何とこもやこよりわは此葉も室乃花とコノ

かづみで馬よ是れまでみおくる
鈴ふとさうらぶがたよう路陽
乃花風うけくもこいあぐる西行
房室れもぬ花も一本神も獨と見
あものをと花は忍ありを知らせり
いづあれを是れまでさるくまは
心らーとせせでまらぞあはれまはるの

花がまらうを聞きけりまら
をてんぶくはくはまは枝

よしてくはるがせとらうら
多よこあへはいで
剛らく花咲よまはる申のよ
かひらちまはるの下のま
もどし柔おはる心とある花の下の

ほりあれど花えんとむれつらん
くらりもぎらつらん桜のどぐい
あつらん桜のうきまきそ月もあるよ
本乃下よ家路をわてもあともよ
こよひの花のむしりて長とをよ
わらわらせぬ剛垣をらん
と云ふが心乃花はあたまもさるや花

見ゆとむきつらんのさぐら
桜乃どぐいよるまゝ柔かぎあわ
たる桜乃うつほまよわ白髪の人
あつらんわの西のうたを像さるはらも
かぎぬるる極あり
これ位者あるがう海乃詠平のうたを
れも尋ひしつよ来りさる

花ハナはハらハれレいイとトなるルあるル人ヒトをヒまマしシ

まマまマぞゾうウれレまマきキれレもモ只タビ今イマのコ詠エイのカ

うウちチとト壽ス命メイとト教ウタよヨ不フ審シンのカわワえエ

わワらラのオニウウタタのコえエんンらラりリまマきキ

あアれレもモいイまマつツくクのヒトのシらラのミぞゾいイのチ

らラ桜サクラ乃ノごゴうウはハまマるルらラくク桜サクラ乃ノ

とトがガハハらラをヲいイはハるルいイはハるルいイはハるルいイはハるルいイはハるル

いイまマはハらラのキ貴キ財ゼン群クニ集ジュのノ

いイまマはハらラのコ詠エイぞゾあアりリ

うウちチとト壽ス命メイとト教ウタよヨ不フ審シンのカわワえエ

うウちチとト壽ス命メイとト教ウタよヨ不フ審シンのカわワえエ

うウちチとト壽ス命メイとト教ウタよヨ不フ審シンのカわワえエ

うウちチとト壽ス命メイとト教ウタよヨ不フ審シンのカわワえエ

うウちチとト壽ス命メイとト教ウタよヨ不フ審シンのカわワえエ

花子ハ花子随つて一時子跡家
九重子らきども花乃ハ梅く世
乃高きハまつ和花とめづるある近衛以
のハとらく知見了きハ柳梅と
こまきまそ都ハ錦らきと
くわな本乃らくを植たきや乃

色と前乃あまらハ千本乃花
らり雲路や香子あは昆沙門
た乃らるらるハ天の榮花も
是乃とそまらるるハあ
黒谷下ハ原乃遍昭僧乃
山の花乃色ハ鶴の林まで

